

会 議 要 旨 書

会議名	令和4年度第1回三鷹市市民体育施設利用者懇談会
日時	令和4年10月25日（火曜日） 18:30～19:30
場所	三鷹市教育センター2階 第二中研修室
出席委員	高橋伸、中野石太郎、是井広則、國本有紀子、水口松美、山岸みゆき、村上恭之、竹内珠代、岩崎好高、小林大祐（名簿順、敬称略）
欠席委員	丸岡近賀子、（敬称略）
出席説明員	スポーツと文化部長 大朝摂子、スポーツと文化部調整担当部長 高松真也 スポーツ推進課長 平山寛、スポーツ推進課主事 木挽俊介 スポーツ推進課主事 青木稜香
会議の公開・非公開	公開
傍聴人数	0人

1 委嘱式

- ・委嘱状の交付

2 会議（進行を座長へ）

【事務局】

- ・委員の出席状況について

1名が所用により欠席

- ・傍聴希望について

現時点で傍聴の希望者はいないが、遅れて希望者がでた場合は条例に基づき入場してもらう。

- ・会議録の作成と公開について

三鷹市の市民会議、審議会等では、会議録を要録として作成し、公開している。会議の内容を録音し、会議録の原案を出席委員に確認のうえ、市のホームページと総務部相談・情報課にて公開を行う。

- ・配布資料の確認

3 事務局説明

●三鷹市市民体育施設の開館状況及び利用状況等（令和3年度）について

【平山スポーツ推進課長】

資料1について

1 健康・体力相談事業

参加人数について

2 スポーツ教室事業

（1）定期教室

令和3年度は6月1日から開催を再開した。第1期から第4期まで合計51,232人参加した。令和元年の83,765人と比較すると60%となる。

（2）ワンコイン教室

（3）パーソナルスイム教室

（4）定期教室体験

3 地域貢献事業、体育協会との連携事業

4 施設の開館状況及び利用状況

(1) SUBARU総合スポーツセンター

合計 421,409 人

令和元年度の 505,507 人と比較すると 83%となる。

スポーツ教室に比べれば利用率が高い。

(2) 新川テニスコート

合計 19,791 人

令和元年度と比較すると 105%となる。

(3) 大沢総合グラウンド

合計 234,448 人

令和元年度の 257,631 人と比較すると 91%となる。

5 生涯学習施設等予約システム利用件数

【令和4年度の市民体育施設に係る取り組み】

1 新型コロナウイルス感染症対応

健康チェックシート、施設利用者名簿の取り扱い変更について

2 市民体育施設等にかかる券売機の更新

交通系 IC カードでの決済が可能

対象施設、利用可能な電子マネー、券売機等の設置場所について

●スポーツを通じた健康都市づくりの取り組みについて

【平山スポーツ推進課長】

資料2について

1 目指す姿

スポーツ実施率の向上により市民の健康増進を図る

2 運動のきっかけ作りから運動習慣の定着を見据えた事業転換

(1) 「タッタカくん！ウオーク&ランアプリ」を活用したウオーキング、ランニングの普及

(2) 三鷹体操・みたかダンスの普及、健康・体力相談事業を通じた健康増進

(3) 「三鷹方式」体育協会、地域スポーツクラブ等とのさらなる連携による運動習慣の定着

3 令和4年度の具体的な取り組み

(1) ウオーキング、ランニング（「タッタカくん！ウオーク&ランアプリ」事業）

アプリの登録者数 1,278 人（令和4年10月5日現在）

今年度のアプリ上の取り組み

・「みたかチャレンジラン」

・「みたか防災ウオークスタンプラリー」

・「みたかまるごと文化財ウオークスタンプラリー」

(2) 三鷹体操、みたかダンス

準備運動という位置づけ

(3) 健康・体力相談事業

4 市民体育施設登録団体数

平成30年度と令和4年度の比較

●「市長への意見及び提案」について～これまでの主なご意見～（資料3）

資料3のとおり

4 各委員からの意見や感想

(1) 資料1、資料2について

【水口委員】

「みたか太陽系ウオーク」は「ミィね!mitaka アプリ」で行っているが、「タッタカくん!ウオーク&ランアプリ」と統一した方が使いやすいのではないか。

【平山スポーツ推進課長】

2つのアプリで対象や目的が異なるため、それぞれでお楽しみいただきたい。

【中野委員】

最近、中学校で放課後の見回りについての話が出ているが、「三鷹方式」とどうマッチングさせていくのか。特に、部活動は文化もスポーツも含むと思うが、体育協会の中でどう連携していくか。

【大朝スポーツと文化部長】

部活の地域移行について、学校の放課後の時間の対応を地域の人に協力してもらおうという話題が出ている。スポーツにも関係ない話ではなく、地域スポーツと同じ理念を持った活動だと考えている。

【中野委員】

体育協会加盟のスポーツ団体のほとんどが競技スポーツである。しかし、地域との連携となると必ずしも競技面だけでなく、レクリエーションという側面も含まれる。そのコントロールをどう行うのか。

【是井委員】

指導方針について市でマニュアルの作成を検討してほしい。

【大朝スポーツと文化部長】

競技性を求めたい子どもと生涯スポーツとして活動したい子ども、どちらにとっても良い環境を作る必要がある。

【高橋座長】

基本的には競技性を教えつつ、楽しさについてもフォーカスしていくべき。指導法について検討する必要があり、指導者を育てることがまず必要。楽しむことから競技性を強くしていく等、どのような指導者や指導が必要か考えることが重要。

クラブについても、競技を楽しむという点で目標を高く持てば幅が広がるのでは。各クラブの特徴を確立していければよいのではないか。

印象として、室内の種目が圧倒的に増加しているが、屋外の種目はどうしたのか。

【是井委員】

大沢総合グラウンドについて、利用者が多い一方で利用率が低いのはなぜか。

【高橋座長】

野球場の利用が少ない。原因として、サッカーの人気の高いことや、屋外種目はチームスポーツが多いので、チームが集まらなると実施できないことが考えられる。野球場について別の形での利用方法を変えれば利用率も上がるのではないか。

【大朝スポーツと文化部長】

平成30年度というのは、SUBARU総合スポーツセンターが利用できるようになった次の年なので、屋内スポーツができる場所が増え、利用者が増加したと考えられる。

土日の利用者はサッカーも野球も変わらず。平日の日中及び午後の利用者については、サッカーが多い。

【是井委員】

平日の空いているグラウンドを企業や学校に貸し出すことは可能か。

【平山スポーツ推進課長】

貸し出すにあたっては市民に納得していただく必要がある。

大沢総合グラウンドのサッカー・ラグビー場については、日中に大学のサークル活動として使われることが多いが、野球場はそれが少ない。

【是井委員】

機会があるのであれば、大沢総合グラウンドで平日の貸し出しの仕組みを作ってほしい。また、企業等に対し、学校のグラウンドが使えない場合等に大沢総合グラウンドを利用していただくような柔軟性があっても良いのではないか。

【高橋座長】

さらに昼間も利用できると良いのではないか。

(2) 資料3について

【山岸委員】

ワンコイン教室の定期開催について、アンケートに対しての反応がない。また、急にアンケートが無くなったのはなぜか。

ピラティスやヨガ等について、もっと中級者や上級者向けのクラスを増やしてほしい。

【小林委員】

アンケートについて、セントラルスポーツにおける教室数の検討やインストラクターの人員配置等に反映しているため、回答は行っていなかった。また、無くなった件については把握していなかった。

【山岸委員】

人気の教室が突然無くなるがあった。アンケートで要望のあった教室は復活する等、対応してほしい。できればホームページに書き込めるような形にしてほしい。

【小林委員】

検討する。

【國本委員】

どんな先生が指導してくれるのか文字の説明だけだと分かりづらい。先生の顔写真や前回体験者の年齢を載せる等、分かりやすくしてほしい。

【山岸委員】

体験会がないものもあるので、体験してから申し込めるようにしてほしい。

【高橋座長】

募集の際に説明はしていると思うが、もっとわかりやすくできるとよい。

【國本委員】

申込みボタンを押せば申し込めるようなわかりやすいシステムにしてほしい。

【小林委員】

システムの導入等、検討する。

【高橋座長】

さらに参加者の言葉などがあると、参加者も増えるのではないか。

【是井委員】

大沢総合グラウンドへの意見がないのはなぜか。

【大朝スポーツと文化部長】

単純に意見がでていなかった。

【水口委員】

SUBARU総合スポーツセンター以外でもスポーツ教室を開くことはできるのか。

【小林委員】

大沢総合グラウンドにおいて、来月から野球とテニスのスポーツ教室を開催する。

今後も開催の時間帯についての検討や、多くの種目での開催を考えていきたい。

【大朝スポーツと文化部長】

利用者懇談会の参加者に外施設の利用者が少なかった。こういう教室なら参加したい等ご意見あれば是非いただきたい。

【高橋座長】

ゴルフ人口が増加している。野球場の外側でプラスチックのボールでゴルフを行っているが、主婦の方々を対象に実施することも可能ではないか。

大沢総合グラウンドの管理棟にアイスマシンを導入してほしい。今では置いている施設が多い。怪我や熱中症対策として検討してほしい。

【村上委員】

体育施設の登録団体数について、昨年よりも市外団体の人数が増えた背景はなにがあるのか。

【小林委員】

硬式テニスとラクロスの利用者の増加が大きい。大沢総合グラウンドにおいて、市外の大学がラクロスの練習をしている。テニスは人気のスポーツなので少しでも利用できる施設があるなら登録しようとする人が多いためではないか。

【村上委員】

大沢総合グラウンドについて、三鷹市民だけに着目するのではなく、三鷹市民以外の方も含めて利用率を高めていくことを考えてほしい。

【竹内委員】

利用状況をみると会議室の利用率が低いですが、もっと活用できるのではないかと。

スポーツを実際に行うだけでなく、メンタルヘルス、体力維持等、総合的な取り組みができるとういのではないかと。

スポーツ推進のきっかけとして大沢に温泉施設等を作ってほしい。広い面積があり、車も駐車しやすいため。

【岩崎委員】

資料記載のご意見について、実際に実現できているものもいくつかある。できたこと、できていないことを分けてまとめてほしい。

【小林委員】

社会福祉協議会や健康推進課、安全安心課、防災課等に用事があり、元気創造プラザを訪れた人をいかにスポーツに引き込むか、何か方法があればご意見がほしい。逆に、スポーツ団体だが社会福祉協議会のイベントにも参加できるような、垣根をなくしたスポーツの推進についてもご意見をいただきたい。

【高橋座長】

体育施設がレクリエーション施設としての位置づけであるとよい。遊びを通して人生を豊かにするため、スポーツと文化が融合した施設を作っていきたい。

【中野委員】

子どもと大人の交流が最も活発であるのは、東多世代・西多世代交流センターである。多世代間で相互的に結びつきをもつ必要がある。どこかの所管がまとめて請け負った方が、より力を発揮できるのではないか。

【水口委員】

健康・体力相談事業が値上がりした件について、背景として予算や参加人数の減少等があるのか。

【小林委員】

3回2時間3,000円としていたが、1回1時間1,000円にすることで、より個人の希望回数に柔軟に対応できるようにした。

【水口委員】

チラシの案内のみだと、健康相談のみでプログラムは行わないというように捉えられた。そもそも、1時間では足りないのでは。

【小林委員】

引き続きプログラムは行っていき、リピーターの方には運動の内容をメインで伝えていく。また、案内については、よりお客様の目線に立ったものを作る必要がある。

会議室の利用率が低いという件について、とても狭いのでスポーツを実施するのは難しいということも考えられる。

【高松部長】

元気創造プラザで館内各フロアの案内ツアーやワークショップを含めたウォークショップを行う。

【高橋座長】

活動のみに集中するのではなく、幸せな生活を作るには何が重要かという視点で考えれば、楽しさという点で皆の気持ちをより繋げることができるのではないか。また、子どもに対しても楽しさを伝える、育てることを意識すると、活動もより良い方向に変わるのではないか。

以上